

日本 EU 学会大会での報告希望(含推薦)および  
『日本 EU 学会年報』への執筆希望の受付

日本 EU 学会・企画委員長  
八谷まち子

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

日本 EU 学会第 40 回（2019 年度）研究大会は、2019 年 11 月 16 日（土）および 17 日（日）に神戸大学において開催されることになっております。つきましては、共通論題および自由論題（経済、法律、政治・社会分野等）についての研究報告希望ならびにご推薦をお願い申し上げます。またこの大会でもポスターセッションを実施いたしますので、こちらへの応募もよろしくお願いいたします。

『日本 EU 学会年報』第 40 号から投稿規定が改正されており、随時投稿が可能になっております（「投稿規定」をご参照下さい）。

尚、2014 年 11 月 8 日に開催された理事会におきまして、企画委員会の内規が改正され、研究大会のプログラム等については企画委員会が担当することになっております。それに伴い本文書も企画委員長名で会員の皆様に郵送し、報告希望・執筆希望も企画委員長に直接メールの添付ファイルにて送信して頂くことになりました。また、不測の事態に備えるために事務局にも同時送信して頂き、万全を期したいと思っております。別途同封致します申し込み要領で送信先等をご確認下さい。

## 2019 年度研究大会の共通論題と趣旨

（共通論題）「変貌する時代の EU - 統合の新たな探求」

（趣旨）

今日の世界は大国間の緊張が高まり一国主義が大手を振って、時代が後戻りしている感さえあります。そのような時代にあって、EU も内外において様々な挑戦を受けています。内政では、EU 懐疑主義の広がり、ユーロ加盟国の経済・財政問題の継続、加盟国間の連帯の後退など、また対外関係では、人権や多国間協調への挑戦が顕著です。そのような情勢は EU の役割への負のイメージを先行させているように見受けられます。しかしながらよく見ると、内政では問題のたびに EU レベルでの制度の整備が進み権限が拡大している一面があり、対外的には安全保障分野での加盟国間の協力が強化されています。

世界情勢の変貌が論争されるなか、経済、法、政治の側面から EU の再構築をも視野にいたした可能性を多面的に論じてみたいと考えます。そのためには、今日の諸問題の歴史的、制度的、法的検討を通して、それらの問題点の背景や原因を深く検証することが重要です。そのうえで、統合の実績に照らしながら、EU の今後の展開と役割の可能性を探ってみたいと考えます。

ヨーロッパンセメスター、欧州中央銀行の役割、GDPR の意義、プラットフォーム規制、PESCO、21 世紀新加盟国の位置づけ、対米関係の模索、中国との接近と距離、難民とアフリカ政策、5 月の EP 選挙結果、BREXIT 関連争点、などなど思いつくままに並べても研究課題は山積です。

40 周年記念大会にふさわしい学際的で意欲的な報告希望を期待いたします。

## 研究大会での報告を申込み際の注意点

報告希望を出される場合、以下の点につき特にご注意頂きますようお願い申し上げます。

1. 研究大会でのご報告は、日本EU学会年報への投稿を前提としてお願いしておりますので、ご了解いただきますようお願い申し上げます。
2. 「年報」は原著論文のための学術雑誌であり、二重投稿は認められておりません。そのため、年報に投稿予定の論文と同じ内容の論文を他の原著論文誌に投稿しないようにご注意ください。また、他の原著論文誌に掲載済みもしくは投稿中の論文と同じ内容の論文を「年報」に投稿することもご遠慮ください。
3. 所定期日(2019年10月20日)までに完成原稿の提出がない場合、学会年報への論文掲載のための査読対象になりません(年報掲載資格を失うこととなります)のであらかじめご了承下さい。なお、その場合でも、研究大会での報告は許可されます。
4. ポスターセッションが実施されます。発表希望が認められなかった場合、ポスターセッションでの発表を希望するか否かを希望申し込み用紙に記入してください。

また大学院生会員は、報告希望を出す際に、あわせて以下の書類を提出下さい。

1. 業績リスト(公刊された著書・論文一覧。書式は自由)
2. A4用紙で3枚程度の報告要旨(含参考文献リスト)

## ポスターセッションへの参加を申し込む際の注意点

報告希望を出される場合、以下の点につき特にご注意頂きますようお願い申し上げます。

1. ポスターセッションは大会2日目(11月17日の昼休み)を予定しています。ポスターを会場に貼るだけの参加はできません。ポスター作成者本人が大会に参加してポスターセッションの時間帯に説明を行う義務があります。
2. ポスターセッション参加者はペーパーを提出し、大会前後に学会サイトに報告論文と同様にダウンロード可能な状態にすることも可能です。しかしこれは義務ではありませんので、ペーパーの提出は任意ですが、提出期限等の条件は通常の報告論文と同様とします。ポスターセッションでも他学会等との二重発表は認められておりません。既に他学会で仕様したポスターの利用はできませんので、ご注意ください。「年報」への掲載を希望する場合は別途執筆希望もご提出ください。
3. ポスターの作成方法、規格等詳細については、別紙の説明分「ポスターセッションについて」をお読み下さい。
4. 大学生会員は報告希望と同様に業績リストとA4用紙で3枚程度の報告要旨を提出ください。申込時にポスター本体の送付はしないでください。

## 報告希望の締切り

準備の都合により、別紙「申込要領」に従い、アンケート用紙(ファイルは日本EU学会ホームページからダウンロード可能)に必要な事項をご記入のうえ、2019年3月7日(木) 必着で、添付ファイルにてお送りください。

### 『日本 EU 学会年報』への執筆希望

学会誌『日本 EU 学会年報』第 40 号は、研究大会の報告を中心に編集する予定ですが、報告以外の研究論文および書評も掲載が可能です。2019 年度より論文の随時投稿が可能となっております。詳細は「投稿規定」をご参照下さい。

### 採否の決定と提出論文のレフェリー審査

報告者、ポスターセッション参加者については、企画委員会で検討したうえで選定させていただきますが、企画委員会として別途報告者を推薦させて頂く場合もあります。最終的には、2019 年 4 月に開催予定の理事会で審議のうえ、決定する予定にしております。そのため、必ずしもご希望に添えない場合もありますので、予めご了解頂ければ幸いです。

また、論文の年報への掲載につきましては、レフェリー制度をとっておりますのでご承知おきください。

原稿の締め切りは 2019 年 10 月 20 日 (日) とし、字数は 20,000 字以内（注、参考文献、図表を含む）です。

完成原稿提出の際には、日本 EU 学会の「投稿規程」「執筆要領」「レフェリー規程」（学会ホームページおよび年報に掲載）をいま一度ご精読頂きますようお願い申し上げます。

以上ご案内申し上げます。

敬具